



端座位からの立ち上がりを検知する離床センサー



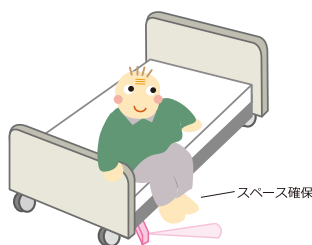
Q

日中端座位で過ごされる患者がいます。端座位からの立ち上りを
知りたいんですが、そんなセンサーってありますか？

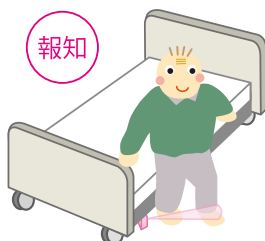
端座位からの立ち上りを検知する専用の離床センサーはありませんが、
センサーの設置工夫により、立ち上りを知ることができますよ！



設置工夫 超音波・赤外線センサーの場合



端座位 検知しない



歩き始め 立ち上がり、一歩目の
足の動きを検知



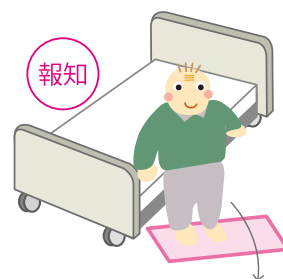
超音波・赤外線センサー
端座位から立ち上がり、足を前
に出した場所を検知するように設置
します。

超音波・赤外線センサーはマグネットでフレームに
ワンタッチで取付けることができます。誤検知を防ぐため、
短い距離設定で一歩目を確実に捉えるように設置するのが
オススメです。[設定例：設定距離0.5m、検知時間0.5秒]

設置工夫 コールマットの場合



端座位 検知しない



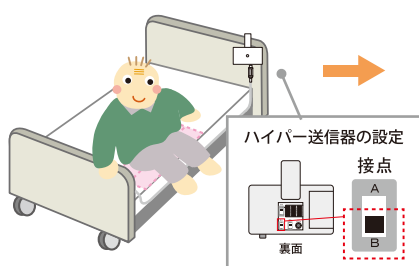
歩き始め 立ち上がり、一歩目の
足の動きを検知



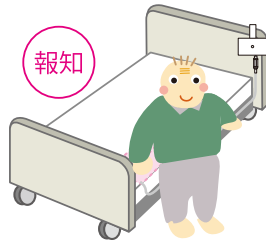
コールマット
端座位から立ち上がり、歩き出
しの一歩目でマットを踏むと作動
するように設置します。

端座位のスペースを確保し、立ち上がってから動き出す
動線上に、コールマットを設置します。

設定工夫 サイドコールC・スマートの場合



端座位 検知しない



立ち上がり 立ち上りを検知



サイドセンサー
端座位から立ち上がり、センサ
ーから荷重が抜けた時に作動するよ
うハイパー送信器を設定します。

サイドセンサーを設置し、ハイパー送信器の接点を「B」に
します。「A」は荷重がかかると作動し、「B」は荷重が無
くなった時に作動します。つまり、端座位（センサーに荷重
がかかっている）の状態から、立ち上がる（センサーから荷
重がなくなる）とお知らせします。